

タイピング

タッチタイピングを習得するために

パソコンの操作に必ず必要になるのは、タイピングの技術です。高校でも正しいタイピングのやり方、練習の仕方について授業があったと思います。ただし、残念ながらその技術が定着するように、多くの時間が授業の中で割かれることはまれだと思います。皆さんはタイピングの方法が正しく定着する前に、自己流で何とかキーボードを使えるようになったという人が多いのではないのでしょうか。

もしキーボードをまったく見ないでも文章をすばやくタイピングすることができるのであればそれで良いのですが、そうではない場合はできるだけ早い段階でタイピングの技術を獲得することが大切です。

大学では、長文のレポートや論文が課題に出されることが多く、最近はそうしたレポート・論文はワープロソフトで作成して提出することが多くなっています。長文の入力には、キーボードをいちいち見ずにタイピングができるタッチタイピングの技術を身につけていると、圧倒的に有利であることは言うまでもありません。

では、どうすればタッチタイピングを身につけることができるのでしょうか。タッチタイピングには、きちんとした方法が確立しています。自己流のタイピングの仕方では、ある程度早くなっても、それ以上進まない場合がほとんどです。自分の努力で自習することもできますので、ある時期に集中的に意識的にタイピング技術を身につける必要があります。そのために多くのタイピング練習ソフトが市販されていますし、オンラインソフトやWebサイトにもいろいろなタイピング練習をうたったものがあります。

しかし、そうした中にはタイピングの基本がきちんと説明されていないもの、ゲーム性が強くきちんと1ステップずつ基本を身につける前にそうした派手なゲームで得点を得ることばかりに走ってしまいがちなものなどが多いようです。やはり地道な練習が何よりです。

■キーボードとホームポジションの図



学ぶためのソフト

以下に挙げたものは、タイピングの基本がきちんと説明され、1ステップずつタイピング技術を学んでいくためのソフトとして、価格も手頃でお勧めできるものです。ただし、こうしたソフトを買っただけではだめで、これらのソフトを使って一歩一歩着実に、かつある期間集中して練習することが必要です。

■CIEC Typing Club

コンピュータ利用協議会(CIEC)が鹿児島大学の阪倉隆夫氏と開発したタイピング練習ソフト。大学の生協で販売されていますが、生協のない大学ではVarsity Wave (<http://www.varsitywave.co.jp>)から購入することもできます (Windows用)。

■スーパー特打メソッド

ソースネクスト社 (<http://www.sourcenext.com>) の製品。パソコン専門店、大型家電販売店などで購入できます。

特打シリーズの一つですが、他の特打がゲーム性の強いものなのに対して、「スーパー特打メソッド」だけは一歩一歩着実に学習できるものになっています (Windows用)。

■ほんとのタイピング 9

JUNGLE (<http://www.junglejapan.com/products/edu/typing>) の製品。上記と同様なコンセプトの商品 (Windows用)。

■Keyboard Master 6

プラト社 (<http://www.plato-web.com>) の製品。これも入手しやすく内容も定評のある製品です。WindowsとMacの両対応。